

脱毛症への処方 体質を見極めて

Q 五十一歳、女性。夫と自営業をしております。

ここ数年、季節の変わり目に脱毛がひどく、二月から三月にかけて大きな円形脱毛症になります。

A 脱毛に対する質問が多いので、まとめてお

答える。確定申告の時期に脱毛になるようです、ストレスが考えられる。自律神経を調節する加味逍遙散（かみしょうようさん）と育毛に有用な四物湯（しもつとう）を併用するとよい。

別の二十代の女性の場合、就職を機に円形脱毛症になったという。きちょうめんな性格なら半夏厚朴湯（はんげこうぼくとう）を試みるとよい。出産後の抜け毛には、十全大補湯（じゅうぜんたいほとう）や人参養榮湯（にんじんようえいとう）がよい。

全体に抜け毛がひどく、頭皮がブヨブヨして押すと圧痕ができるとの相談もある。これは水毒（すいどく）すなわち水分代謝の異常で髪に栄養が行き渡らないためと考えられる。この場合は防己黄耆湯（ぼういおうぎとう）や五苓散（ごれいさん）がよい。

男性の場合、筋肉質で男性ホルモンに関連した脱毛には治療効果はあまり期待できない。しかし、きゃしゃな体格で「ふけが多い」という男性の例では桂枝加竜骨牡蛎湯（けいしかりゅうこつぽれいとう）などを勧める。消化器症状と関連した脱毛には大柴胡湯（だいさいことう）、柴胡加竜骨牡蛎湯（さいこかりゅうこつぽれいとう）、半夏瀉心湯（はんげしゃしんとう）などを用いる。